

e スポーツが生み出す高齢者のコミュニケーション ——シルバーe スポーツ協会へのインタビューから 見る現状と課題

この研究では、e スポーツ界において「e スポーツによる社会貢献」を初めて提唱した「さいたま市民シルバーe スポーツ協会」に焦点を当て、「e スポーツ」と「高齢者福祉」統合のための可能性を提示し、自治体が主体となり、高齢者への e スポーツ教育を行う意義について考察する。

結果として、e スポーツを実施すること自体が大切ということではなく、e スポーツを行う上での環境やコミュニティが大切だということが明らかとなった。

ただ、家で e スポーツを行う敷居が高いといった問題があることも明らかとなった。

e スポーツが認知機能の向上に寄与することは示唆されており、今後の発展にこれからも注目していきたい。

フォントサイズ：タイトルのみ 18pt、その他 10.5～11pt

和文フォント：MS 明朝

欧文フォント：Times New Roman